

令和4年度 千厩高等学校教職員 働き方改革アクションプラン～大人の手本を見せましょう～

千厩高校では、「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状	2 目指す姿
1 教職員は使命感を持って職務に熱心に取り組んでおり、自身の健康や家族との対話より教育活動が優先されている。 2 新しい考えを取り入れ、業務の改善を図ろうという機運にはなっていない。 3 ICTや新学習指導要領など新しい状況に対して対応し切れていない。	1 自分自身の心身の健康を気遣い、家族との時間を確保し、生きがいとやりがいを感じながら教育活動が行われている。 2 教材研究や教員同士のコミュニケーションを図る時間が確保されている。 3 新しい制度や情報が共有され、教職員間で活発な意見交換がなされている。

3 取組内容
○教職員の健康管理 ・「健康」を意識した生活を心がけるよう呼びかける。 ・各自の勤務時間の把握を確実に行う。 ・正副担当で業務の連携を図り、共有フォルダで作業をすることで、年次の取りやすい環境を作る。
○学校における業務改善の推進 ・他校・他県の取り組みを紹介し、業務の見直しを提案する。 ・教育センター等の研修への参加を呼びかけ、帰校後の資料回覧等でより多くの教職員に情報を拡散させる。 ・管理職による面談やアンケートを実施し学校業務の見直しを図る。

4 目 標
○教職員の健康管理 ・健康管理区分でD3・D2の割合が少なくとも県割合（R3：39.0%）以上 ・校内アンケートで、業務に対する充実感について10点満点の6点以上が85%以上 ・年次取得年間40時間以上が97%以上 ・最低週1回は定時退庁、校舎施錠前に退勤している割合が90%以上
○学校における業務改善の推進 ・業務のデータを共有ファイルに保存している割合95%以上 ・管理職によるアンケートの実施年2回以上 ・新しい業務の仕方についての紹介10回以上
●結果としての時間外在校等時間の縮減 ・月100時間以上の者 ゼロ ・月45時間超（週休日の部活動従事時間を除く）、年間360時間超の者 R2の80%減

令和4年5月18日 岩手県立千厩高等学校長 松場 喜美夫

【参考】「岩手県教職員働き方改革アクションプラン（2021～2023）」（抜粋）

【策定趣旨】 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちへの、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度

【プランの目標】

目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間が月100時間以上のものを令和3年度からゼロにする。

(2) 時間外在校等時間（週休日の部活動指導従事時間を除く。）が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。

時間外在校等時間	令和3年度	令和4年度	令和5年度
月45時間超	令和2年度実績の	令和2年度実績の	ゼロ
年360時間超	5割減	8割減	

目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。